

2024 年度 事業活動計画

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日)

1. 2024 年度当協会を取り巻く状況

コロナ禍を超えて社会経済活動の正常化が進む中、日本経済は着実に持ち直してきており、今後さらに、インバウンドの増加や国内投資の拡大などにより、より一層の回復が期待されます。一方で、長引く円安などを背景とする原材料費・エネルギーコストの高騰、モノだけではなくサービス 価格を含めた物価の上昇が続いています。さらに、物流問題や人手不足、労働環境の改善、環境への対応など解決されていない課題も依然として存在しています。

今月 5 日に発表された 2023 年の合計特殊出生率は 1999 年以来、24 年ぶりに全都道府県で前年を下回りました。少子化の進展は将来の労働力や消費者の減少につながり、日本経済の成長力を低下させる要因となります。

また、中国経済の下振れリスクやロシアのウクライナ侵攻長期化に加え、不安定な中東情勢、米国の大統領選挙などによる日本経済および世界経済への影響については、引き続き注視していかねばなりません。

7 月 26 日から開催されるパリオリンピックは、史上初となる「使い捨てプラスチックを使用しない大会」を目指し、環境に配慮した取り組みが打ち出されています。競技施設の 95%は既存もしくは仮設の建物を使用します。また、競技会場へはペットボトルの持ち込みは原則禁止となり、マイボトルを持ち込まなければなりません。

オリンピック公式スポンサーのコカ・コーラ社は、再利用可能なガラス瓶や、200 を超えるソーダファウンテンを設置して飲料の提供をする予定です。

フランスはこれまでもプラスチックごみの削減に積極的に取り組んでおり、2023 年からはファーストフードでの使い捨てプラスチックの利用を禁止し、2040 年までに使い捨てプラスチック容器・包装の販売停止を掲げています。

パリ大会は競技だけではなく、環境問題対策の実践と教育の場としても位置づけられています。

当協会ではこれまで再生循環や容器包装、ポジティブリスト等に関する情報を軸に、技術委員会にて関連するテーマを取り上げてきましたが、今後も引き続きキャップ業界に役立つ情報を提供してまいります。

この他、会報誌キャップ春秋の発行、ホームページを活用した情報の提供や各種お問い合わせへの対応、及び、大崎フォレストビルディングのプラスチックキャップ回収窓口などの活動を引き続き行ってまいります。

2. 事業活動計画

2-1. 技術委員会の活動について

定例技術委員会は従来通り2か月に一度、奇数月に開催する予定です。

今期につきましても前年度に引き続き対面とWEBの併用により開催させて頂く予定です。

工場見学会は調味料メーカーとキャップ付き紙パックを使用した乳飲料メーカーの見学を10月に予定しております。

また、今年度はホームページのリニューアルを予定しています。「キャップ紹介」の製品の更新をはじめ、「協会紹介」及び「事業計画図」の内容更新などを行う予定です。

この他、ポジティブリストの改編と再整理に関する進捗状況や再生プラスチックなどにつきましても、引き続き消費者庁など関係省庁の情報を注視しながら、適切な対応を検討してまいります。

2-2. 定時社員総会・定時理事会の開催

第32回定時理事会は11月6日(水)開催の予定です。

2-3. 工場見学会の開催

調味料及び乳飲料メーカーの見学を10月1日(火)に予定しています。

2-4. 懇親ゴルフ大会の開催

今年度は11月6日(水)戸塚カントリー倶楽部での開催を予定しています。

2-5. 会報誌キャップ春秋の発行

2024年度における技術委員会の活動や見学会の内容、その他当協会の活動内容などを掲載する予定です。コスト削減とペーパーレス化推進の為、引き続きPDF化を継続してまいります。

2-6. ホームページを活用して情報発信

2024年度事業計画や会員情報などの変更事項、会報誌キャップ春秋の掲載などを行います。また、今年度はキャップ紹介や協会紹介などの内容の更新等を中心としたホームページのリニューアルを計画しております。

2-7. 大崎フォレストビルディングのプラスチックキャップ回収窓口

今年度も大崎フォレストビルディングでの回収窓口を継続します。

2-8. 協会への問い合わせ対応

前年度は 30 件のお問い合わせを頂きました。

引き続き真摯に対応させて頂く所存です。